平成21年度実績事務事業評価シート (Aシート)

「火と「一人人候子切子木川画」								(// /	' /	作成日:	平成22年	6月16日
基	隆理	番号		01-06	60103001-01	事業種別 一		般		事業態	様	継続
事務事業名 畑均				田地流動化推進事業			区分	コー	7	名	称	
事伤争未有 川川			УШТ	地侧期化推进争未			会計	1	一般会計	t		
総合		区分	•	コード	名	称	款	6	農林水產	E業費		
	前	#+		4	4 T1+7>7+1 m++ 3/10		項	1	農業費			
	期	基本目標	徐	4	活力あるふるさとのまちづくり		目	3	農業振興費			
計画	基本	施策		1	地域の特性を活かした農林業の振興		細目	1	農業経営	含改善支援費		
体系	計	ル山	來	ı	地域の付任を行かした長州未の振典		細々目	1	畑地流動	协化推進事業		
	画	基本事業		3	遊休農地の解消と生産拡大			事業の 法令等	√ 有 無	本宮市農林業振興事	事業補助金交	:付要綱
事業期間					単年度 ✓ 単年	再度繰返し	其	間限定	複数年度	(年	E度 ~	年度)
事業概要 (事業のあらまし))	る。	有効利用を図るため 金の交付 5,00	、農業委員会を通し 0円/10a	た3年	以上の賃	賃貸借に対	して、初年度のみか	ぎし手・借り	手に助成す
計画等での 位置付け				✓ 総合	計画 前期基本計	画主要事業		担	1.当部課等	産業建設部	卢	農政課
				自自	E的財政健全化計画	基本計画・構想・	新規事業	É	担当係	農政係	記入者 渡辺	D義輝
				平月	t21年度重点事業				一次評価	者 (課長等名)	山本政明	

1 行動方針 (PLAN)

	1139777 21 (177171)					
事	対象 (誰を、何を)	耕作放棄地となる恐れのある畑地				
学業	意図→目指す成果	耕作放棄地とならないよう、担い手等に農地の集積を推す		区分	指標名	単位
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの	る。 ※畑地流動化面積:遊休の畑を、担い手に貸し付けする面		成果	年間畑地流動化面積(新規)	а
	カシ)	積	₽	指標		
	手段	農業委員会に提出された畑地における賃貸借権の農用地利 用集積計画書に基づき初回に限り補助金を交付する。		区分	指標名	単位
	(事業の具体的な			活動	補助対象件数	件
	内容、手順等)			指標	補助金交付額	千円

2 実施 (DO)

○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(決	算)	平成21年度(注	夬算)	平成22年度(決算)	
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額
		(千円)		(千円)		(千円)
	負担金・補助及び交付金	0	負担金・補助及び交付金	0		
						,
丰松丰 ***						
直接事業費						
					,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	×
	①事業費計	0	①事業費計	0	①事業費計	
人件費	②人数 (年)	0.10	②人数(年)	0.10	②人数 (年)	
	③平均人件費	8,608	③平均人件費	8,375	③平均人件費	
	4=2×3	861	$4=2\times3$	838	4=2×3	
総事業費 ①+④)	861		838		
	国庫支出金		国庫支出金			
	県支出金		県支出金			
H-VET do ∃n	使用料及び手数料		使用料及び手数料			
財源内訳	地方債		地方債			
	その他		その他			
	一般財源	861	一般財源	838		\$

○事務事業の実績

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	補助対象件数	件	0	0	2	5
伯男相悰	補助金交付額	千円	0	0	10	50

○事務事業の成果

	指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
成果指標	年間畑地流動化面積(新規)	а	0	0	10	50
从木1日伝						

3 評価 (CHECK)

	【1次評価】								
		項目	区 分		選択理由の説明	項目評価			
目	1	意図が政策・施策体系と結	■ 結びつかない		遊休農地化を防止し、生産拡大や環境保全が図れ	✓ 適切			
的妥	·	びついているか?	✓ 結びついている		<u>る。</u>	― やや不適切			
当	2	市が行うべき(関与すべ	√ 行う必要がある		全国的にも遊休農地は拡大しており、少しでも拡	不適切			
性		き)事業か?	行う必要がない	_	大を抑えるためにも、行政の関与が必要。				
		目的を達成するための手段	✓ 有効である		農業委員会、JA等関係機関と連携しているが、	✓ 適切			
+	1	(実施方法)は有効か?	□ やや有効でない		補助金があることは呼び水になっている。	― やや不適切			
有効			■ 有効でない			不適切			
性		成果指標の目標値の達成状	順調である	\Rightarrow	畑地を借りても、園芸作物の何を栽培しても採算が合わない状態であるため。				
	2	況は?			が合わない状態であるため。				
			✓ 順調でない						
	1	投入した事業費又は人員に	得られている	\Rightarrow		適切			
-t-1.		見合った効果は得られているか?			推進を図るには、逆に事業費の増が必要である。	✓ やや不適切			
効率		3N3:	得られていない			不適切			
性		効率的な方法で実施されて	実施されている		農業委員会への事業計画書提出が助成対象者把握 の基となるため、農業委員会の事務事業とするこ とで効率の良い事務執行が図れる。				
	2	いるか?							
			実施されていない		とて効率の及び事務報目が固ねる。				
公		受益者の負担が適正かつ特	馴染まない		設定農業者等の規制はなく、誰でも申請できる制	✓ 適切			
平	1	定の個人や団体に偏ってい	✓ 適正である		度になっている。	やや不適切			
性		ないか?	□ やや適正でない		また、1/2補助は、事業者に責任を持たせるためにも適正である。	□ 不適切			
			□ 適正でない		5/1- 0/gaz (6/5 d)				
_									
	【2次評価】								
L	<u>全体評価</u> 意 見								
I=	適切								
	•	で不適切							
Ш	不適切								

4 評価による行動 (ACTION)

		【1次評価】		【2次評価】
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)
20年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	現在は賃貸借権の設定が進んでいないが、 耕作放棄地を予防するためには、今後積極 的に推進を図るべきものであり、継続する 必要がある。		
2 1 年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	現在は賃貸借権の設定が進んでいないが、 耕作放棄地を予防するためには、今後積極 的に推進を図るべきものであり、継続する 必要がある。	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	
2 2 年度	拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了		拡大・重点化手段等の見直し現状継続廃止・休止完了・終了	